

ラ振ワテ安藤ヲ歐打セシメ安藤ハ一旦地上ニ降り付下大島町
 七丁目四四七番地高庄策方一更リ自己所有ノ二首一振ヲ携帶
 シ再ニ全煙突ニ登攀シ堀江ニ對シ下降方ヲ勸告シタルニ堀江
 ハ死ストエト下降セスト稱シ所持セル旗竿ヲ以テ上ヨリ安藤ノ
 頭部其他全身ヲ亂打シタルヲ安藤ハ更ニ屈セズ足溜リノ下ニ
 突入シタルヲ堀江ハ旗竿ヲ持換ヘ足溜マンホールヨリ安藤
 ノ頭部ヲ歐打セントシクルカ其ノ間隙ニ乘リ安藤ハ像ヲ所持
 セルニ首ヲ以テ堀江ノ右脚腓筋ヲ刺シ穿サニ才位全治三浦向
 ノ傷害ヲ與ヘ堀江ノヒルム隙ニ乘リ足溜リニ登リ堀江ヲ組伏
 セ續ヒテ登リタル山下ト共ニ堀江ヲ縛シ更ニ安藤ハ堀江ヲ抱
 ケ山下ラシテ兩名ヲ一括リニ縛サシメ予テ準備セル「テークル」
 ヲ利用シ無事引降シテ了シ堀江ハ直ニ大島町ニ下月八一九山
 田医院ニ入院セシメタリ。折轉砂町署ニ於テハ堀江ハ非拘束
 ノ停取調ハ他方加害者安藤ハ直ニ検挙シ取調ヘ申上リ

初小中謀團側ニ於テハ私田製塩所争議全通ヲ見ヨト懸スレ別
 記印刷物ヲ作成シ関係組合並ニ工場附近ニ撒布セリ
 右及中(通)報候也

私田製塩所争議全通を見よ!!

- 五月二十七日の夜摩前廣橋署の警官隊に、争議団の總検束をされた前後の争議全通は左の如く
 あり。
- (一) 五月二十五日夜工場並、私田製塩所は、争議団員五名、吉井八ツ女が大島町大吉亭ニ於テ
 其處見物中にかうみし監禁を去つた、私田は其ノ時暴動を指揮してゐた。
 - (二) 五月二十七日夜砂ヶ野署署長の警官隊、約二十名、高正組暴動の争議全通に獲捕され
 て裏切工を入場せしめた。この際争議団の一切の行方は耶止されたとのこと、當然に争議を激
 化せしめた。
 - (三) 五月二十七日夜大島町署署長は、この日午前五時台にて争議団をおそれ、世の外
 全部の争議団を結束した。
 - (四) この際總検束中に、争議団員は警官隊の後方より争議団員をどうして警官に引附した。
 (二)のさし私田製塩所は、争議団員の支那ソバヤに頑張る全部一人、決すると廣橋署警官隊
 と連絡を取つた、支那ソバヤの証人になる。
 - (六) 五月二十八日午前、將三十分(深夜だ)工場並私田製塩所が失火になり、高正組暴動六名、手
 平に混雑其他の被害者を持つて争議団の暴動の象を打ちこはし、高正組暴動を打ちこ
 るた。この暴動、約十五名の後引附した妻君は、そのために全港三週間の重傷を蒙つた。
 奇怪なる中には皆背して私田の工場をけ何じりたことである。